

各関係機関長 様

高知県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について

平成 26 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号を送付します。

---

平成 26 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号

1. 害虫名 シソサビダニ (*Shevtchenkella* sp.)

2. 発生作物 シソ (オオバ)

3. 発生経過

平成 26 年 3 月、高知県中央部の施設栽培葉ジソ (オオバ) 圃場 (1.5 a) で葉および茎の褐変した株が認められた。被害部に多数のフシダニの寄生が観察されたため、法政大学生命科学部の上遠野富士夫教授に同定を依頼したところ、シソサビダニであることが判明した (上遠野, 私信)。

本種は平成 24 年に日本で初めてシソで発生が報告された新種の可能性の高いフシダニで (上遠野・岸本, 2013)、他県における発生状況は不明である。なお、*Shevtchenkella* 属は日本では初めて確認された属である (上遠野・岸本, 2013)。

4. 形態・生態

成虫は体長約 0.15mm の紡錘形で淡黄色を呈する (写真 1)。肉眼での観察は困難である。本種の発生生態は不明で、現在、高知県農業技術センターなど関係機関で寄主植物などの調査が行われている。

5. 被害状況

主に生長点に近い葉や茎を加害する。初期は葉の基部に近い部分の表面が (写真 2)、加害が進むと葉や生長点、茎の表面が褐色のさび症状を呈する (写真 3)。著しく加害された株は落葉、枯死する。また、シソモザイク病 (仮称) の原因となる PMoV (仮称) を媒介する。

6. 防除対策

本種の防除対策は明らかでない。なお、シソのサビダニを対象にコロマイト乳剤が適用登録されているが、本種に対する防除効果は不明である。現在、高知県農業技術センターで有効薬剤の検討が行われている。

7. 参考資料

上遠野富士夫・岸本秀成 (2013) : 日本の農作物から新たに発見されたフシダニ 2 種について. 第 57 回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集 57 : 78

お問合せは、環境農業推進課 (担当 : 島本、TEL : 088-821-4861) または病害虫防除所 (担当 : 朝比奈、TEL : 088-863-1132) まで

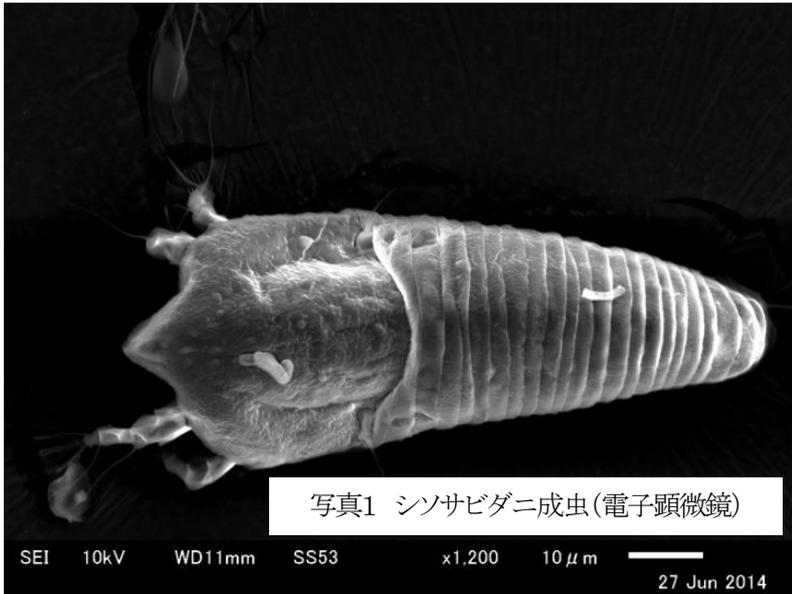


写真1 シソサビダニ成虫(電子顕微鏡)



写真2 葉の初期のさび症状



写真3 さび症状